

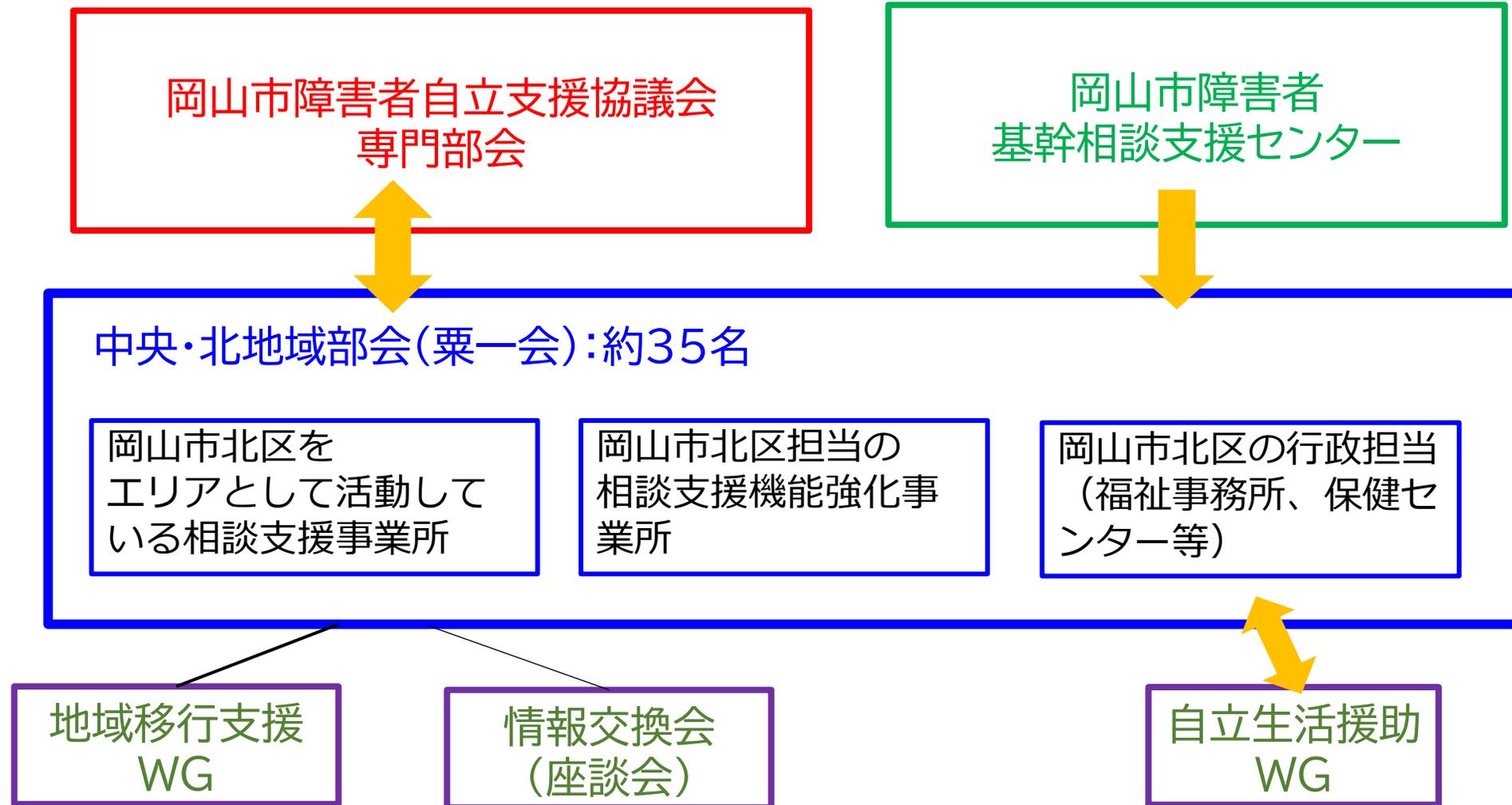
# 中央・北地域部会(粟一会)

## 令和6年度 活動報告

障害者生活支援センターこら～れ： 杉山 ゆい  
相談支援センター 鹿田： 川上 俊輔

種別	開催ペース・場所	R6年度実績
定例会	毎月第3木曜日 13:30～15:30 北ふれあいセンター メンタルサポートルーム	12回
地域移行支援WG	毎月第4金曜日 14:00～15:30 岡山県精神科医療センター	10回
情報交換会 (座談会)	5月・8月・11月の第4木曜日 13:30～15:30 北ふれあいセンター メンタルサポートルーム	3回

# 中央・北地域部会(粟一会)の構成



## ■研修会

【9月】『家計支援について』

講師：岡山市家計改善支援事業所 宮崎啓輔氏・黒田明穂氏

【1月】『災害に備えていまできることを一緒に考えましょう』

講師：岡山市危機管理室 近藤慎吾氏／相談支援センター鹿田 奥田真由美氏

## ■勉強会

【5月】「岡山市障害者プラン及び第7期岡山市障害福祉計画・

第3期岡山市障害児福祉計画の策定について」 岡山市障害福祉課

【5月】「令和6年度報酬改定について～相談支援を中心に～」

岡山市障害者基幹相談支援センター 村上センター長

【7月】「総合相談支援体制について」

岡山市社会福祉協議会 相談支援包括化推進員

## ■GSV

【8月】

軽度知的の10代女性。妹のヤングケアラーになっている。支援者の連絡に応じ  
てくれない状況で本人との距離感をどのようにとればいいのか。

→支援者が担当になって日が浅いため、信頼関係の構築から意識してはどうか。

【11月】

統合失調症の60代。GHで夜間のトラブルが頻発しているが、本人は利用を継続  
したい。定着するための手立てを考えたい。

→夜間の過ごし方を再アセスメントしてはどうか。

【3月】

発達障害のある中学生。非行傾向で昼夜逆転生活。生活リズムを整えたい。

→ボクシングなど、力の発散場所をつくってはどうか。

R7年度5月部会で嬉しい内  
容の後追い報告があった。

## ■地域課題……課題収集(5・9月)・検討(6・10月)

- ◆身寄りのない当事者の緊急入院や死亡時に支援者がどこまでできるのか。  
→エンディングノートの作成、死後事務委任契約などの制度を知る
- ◆多目的トイレでもユニバーサルシートを設置している場所が少ない。  
→当事者が外出して必要だと声を上げる。当事者団体が設計の段階から関わる。
- ◆登校支援で移動支援を受けてくれる事業所が見つからない。  
→ケース毎に考える協議の場を設ける。地域ボランティアの活用。
- ◆育児支援に入れるヘルパー事業所が少ない。ヘルパー事業所の得意分野がわからない。  
→障害者のしおりに記載。ヘルパー事業所の横のつながり。
- ◆保育所等訪問について知られていない。  
→主治医や保健師を通した伝達。SNSで話題にする。
- ◆本人のこだわりから I 型から生活介護への移行が困難なケース。慣れるまでの併用が認められないか。  
→再アセスメント。I 型の環境を生活介護に模してみる。

広報部会へ提案。え〜んじゃネットに事業所PR欄を設ける予定。

## ■事業所紹介      ■各専門部会の情報共有

### ■日中サービス支援型共同生活援助評価（12月）

- ・ ソーシャルインクルーホーム岡山建部町（4回目）
- ・ ソーシャルインクルーホーム岡山門前（2回目）

R 7年度からもう一件増える

### ■基幹相談支援センターとの連携

- ・ オブザーバー参加、相談支援に必要な情報提供

### ■主任相談支援専門員の巡回指導

- ・ 主任相談専門員 3名で 18事業所へのアウトリーチを実施

### ■地域生活支援拠点事業

- ・ OJT… 3名受け入れ

5月… 9人  
8月… 9人  
11月… 5人

### ■情報交換会（5・8・11月）

- ・ 必要性を問う時期もあったが部会員からの要望があり継続。前年度より参加者増。
- ・ 申込不要でざっくばらんに現在の困りごとや気になることを話せる場。
- ・ 定例会より少人数なので新規事業所が参加しやすい。

# ■地域移行支援WG

## ●参加事業所

岡山市こころの健康センター、訪問看護ST、岡山パブリック法律事務所、基幹相談支援センター、相談支援機能強化事業所、相談支援事業所 等

## ●開催月(参加者数) 計:134人

4月(12人)	5月(14人)	6月(10人)	7月(20人)	9月(8人)
10月(10人)	11月(32人)	1月(10人)	2月(8人)	3月(10人)

## ●振り返り

- 地域移行支援に関連する地域課題を抽出し、地域部会等を通じて発信ができています
- 今年度も「地域移行支援に関する知識の共有」を目的として勉強会を  
(①地域移行支援の基礎知識について ②地域移行支援における精神科訪問看護)
- A病院に対する地域移行の取組を継続して実施  
(入院者の退院意欲喚起に向けた支援としてWGメンバーが交流会などの取組を定期開催)
- 新規参入事業所が少なく、WGメンバーが固定化しつつあることが継続課題

## ■振り返り(参加者の声)

- モヤモヤが話せて良かった。
- 研修会が参考になる。
- サービス事業所の閉所情報が知れるのが良い。
- 情報や地域課題を知ることができる。
- 顔がつながる。

R7年度は久しぶりに参加する事業所もあった。  
新しい情報を知りたい、横のつながりをもちたいという声も。

## ■改善した方が良く・取り組みたいこと(参加者の声)

- GSVの実施方法の見直し。
- 日中支援型GH評価の意味がわからないまま終わった。
- 研修会「成年後見制度、性被害、カスハラ、不登校、児童の一時保護」
- 各事業所の特徴を知る場がほしい。管理者等との懇談会があれば良い。
- 災害について日常的に考えたい。
- 良い事報告もしたい。